

# 春画展「春画（はるが）来た！」開催のお知らせ



葛飾北斎「喜能会之故真通」（一部）文化 11 年（1814）／浦上蒼穹堂蔵

## ■世界が、先に驚いた！北斎「蛸と海女」ほか秘蔵の名作約 100 点を一挙“蔵出し”公開

熊谷（くまや）美術館（山口県萩市、館長：熊谷家 11 代 江口伊織）では、2025 年 3 月 28 日（金）～6 月 29 日（日）、春画展「春画（はるが）来た！」を開催いたします。

江戸時代に「笑い絵」とも呼ばれ、庶民から大名まで幅広く親しまれた「春画（しゅんが）」は、性描写と笑いが混在するユーモアあふれる浮世絵。芸術性も非常に高く、葛飾北斎、喜多川歌麿など江戸時代を代表する絵師による名作も数多く残されています。その価値は近年、国際的に再評価されており、そのおおらかさ・自由さゆえに「世界における日本人の印象を大きく変えた」とも言われています。若い世代や女性からの関心も非常に高く、2013 年から 2014 年にかけてロンドン・大英博物館で行われた「春画 日本美術の性とのしみ」には約 9 万人、2015 年に東京・目白の永青文庫で開催された日本初の「春画展」には 3 か月で 21 万人が来場するなど、大きな話題を呼びました。

今回は、大英博物館「春画展」の出品者およびスポンサーであり、永青文庫「春画展」で中心的役割を果たした浦上 満氏（浦上蒼穹堂代表）の監修のもと、春画の名品約 100 点を展示（前期・後期入れ替えあり）。浦上家のルーツでもある山口県萩市から、めくるめく性と生、生命の輝き、そして「笑い」の世界へと皆さまを誘います。日本の近代化胎動の地・萩で、今一度、私たち日本人が育んできた独自の美意識と柔らかい知性、そして生命の意味を見つめなおす旅へ出かけましょう。

【会期】2025 年 3 月 28 日（金）～6 月 29 日（日）

※前期 3 月 28 日（金）～5 月 11 日（日）／後期 2025 年 5 月 16 日（金）～6 月 29 日（日）

※会期に先立って 2025 年 2 月 11 日（祝・火）にイベントを開催します。[詳細後述](#)

【会場】公益財団法人 熊谷美術館／重要文化財 熊谷家住宅

【住所】山口県萩市今魚店町 47 番地 【TEL】0838-25-5535

【休館】水曜日（祝日の場合は開館） 【開館時間】10:00～17:00（入館は 16 時 30 分まで）

【料金】一般 2,000 円（重要文化財 熊谷家住宅見学含む）

【入館制限】18 歳未満入館禁止 ※受付で年齢を確認させていただくことがあります。

【主催】「春画來た！」実行委員会：13 代 三輪休雪、元内閣官房長官 河村建夫ほか

【特別協力】浦上蒼穹堂 【協力】熊谷美術館

【問い合わせ】「春画（はるが）來た！」実行委員会 事務局

広報担当：相山（あいやま） [harugakita.shunga2025@gmail.com](mailto:harugakita.shunga2025@gmail.com)

## ■浦上 満氏（浦上蒼穹堂 代表）について

幼少の頃より、コレクターであった父、浦上敏朗(山口県立萩美術館・浦上記念館 名誉館長)の影響で古美術に親しみ、大学卒業後、繩山龍泉堂での修行を経て、1979年浦上蒼穹堂を設立。数々の展覧会を企画開催し、また、日本の美術商として初めて1997年から11年間ニューヨークで「インターナショナル・アジア・アート・フェア」に出店。ベッティングコミッティー(鑑定委員)を務めた。現在、東京美術倶楽部常務取締役及び東京美術商協同組合副理事長。2011年「古美術商にまなぶ 中国・朝鮮古陶磁の見かた、選びかた」(淡交社)、2017年「北斎漫画入門」(文春新書)を刊行。50年にわたり約1700冊の「北斎漫画」を蒐集するなど、世界一の北斎漫画コレクターとしても知られる。<http://www.uragami.co.jp/>

## ■熊谷美術館／重要文化財 熊谷家住宅について

熊谷家は萩で問屋と金融、仲買、製塩等を業とし、萩藩御用達として栄えた豪商。初代熊谷五右衛門芳充が1768年50才の時、萩の菊ヶ浜に近い今魚店町に構えた熊谷家住宅の3,000坪(10000m<sup>2</sup>)の敷地には、国の重要文化財指定されている主屋、離れ座敷、本蔵、宝蔵の他13の蔵が立ち並び、土蔵3棟を改造した展示室に代々の当主が収集した美術品が展示されている。収蔵品は江戸時代を中心とする美術工芸品・民具や、1400年代の水墨画家・雪舟をはじめとする書画屏風類、古萩など茶道具、香炉や硯箱などの美術工芸品、代々伝わる文書類など、約3,000点。中でも4代五右衛門義比がシーボルトより贈られた英国製のスクエアピアノは日本に現存する最古のピアノとしても有名。<https://kumaya.art/>

【参加受付中】2025年2月11日（祝・火）「世界が、先に驚いた！～春画の魅力を紐解く」



浦上 満 氏



石上 阿希 氏



勝川春潮「好色図会十二候」(一部) 天明8年(1788)頃／浦上蒼穹堂蔵

春画展「春画（はるが）来た！」開催を前に、春画の魅力と芸術的価値の高さを知っていただくためのイベント「世界が、先に驚いた！～春画の魅力を紐解く」を開催いたします。当日は当展の展示作品の所有者でもある世界有数の浮世絵コレクター浦上 満氏（浦上蒼穹堂代表）と、世界で初めて春画研究で博士号を取得したことで知られる気鋭の春画研究家・石上阿希氏（京都芸術大学准教授）によるトークセッションのほか、両氏による展示作品の解説などを楽しめます。

【開催日時】2025年2月11日（祝・火）15時～17時（開場14時30分）

【入場料】2,000円

※要予約 前日までに①参加人数、②代表者名、③電話番号を明記の上、メールにてお申し込みください。

【会場】熊谷美術館／重要文化財 熊谷家住宅

山口県萩市今魚店町47番地 【TEL】0838-25-5535

【お問い合わせ・お申し込み】「春画（はるが）来た！」実行委員会 事務局

広報担当：相山（あいやま） [harugakita.shunga2025@gmail.com](mailto:harugakita.shunga2025@gmail.com)